

- 問1 禅宗の影響を受けて発展した、石や砂などで山水を表現する東山文化を象徴する庭園様式は何？
- 問2 中世において、寺社の門前や交通の要所に、決まった日にちや回数で開かれる商業活動の場を何といいますか？
- 問3 室町時代に質屋を営み、酒屋とともに金融業として富を蓄えたのは何？
- 問4 室町幕府の第3代将軍であり、京都の北山に金閣を建てた人物は誰？
- 問5 観阿弥とともに能を大成させ、能楽の基礎を築いた人物は誰？
- 問6 室町幕府が、明との貿易船を正式なものと証明するために使用した札を何という？
- 問7 世阿弥とともに能楽を大成させた人物であり、世阿弥の父でもあるのは誰？
- 問8 室町時代、細川氏が実権を握り、明との間で行われた貿易を何という？
- 問9 正長の土一揆において、農民たちが酒屋や土倉を襲い、借金の帳消しを求めた要求を何といいますか？
- 問10 能の母体となった、民衆の間で行われていた芸能を何という？
- 問11 足利義政の後継者争いから京都で勃発した、大規模な内乱は何年？
- 問12 鎌倉府の長官として、足利氏の一族が世襲して関東地方の軍事や行政を司った役職を何という？
- 問13 日明貿易などで繁栄した自治都市「堺」は、現在の何という都道府県に位置している？
- 問14 明との貿易を開始し、倭寇の取り締まりを行った室町幕府の三代将軍は誰？
- 問15 室町幕府の第3代将軍で、明との間で勘合貿易を始めた人物は誰？
- 問16 室町時代に町衆が主体となって祭礼が運営された、京都にある神社を何という？
- 問17 書院造などの様式を取り入れ、現在私たちが生活する住まいの呼び名となっている部屋の種類を何という？
- 問18 床の間や付け書院などの特徴を持つ、後の日本建築の基礎となった様式を何という？
- 問19 室町幕府において、将軍を補佐する最高の役職であった守護大名の地位を何という？
- 問20 足利義満の時代に、公家文化と武家文化が融合して生まれた文化を何という？
- 問21 室町時代に中継貿易で日本や東南アジアと活発にやり取りをしていた国はどこ？
- 問22 琉球王国が、貿易の拠点として整備した都は現在のどこにあたるか？
- 問23 室町時代の中期、京都の東山に山荘を建てて文化を奨励した第8代将軍は誰？
- 問24 首里に築かれ、琉球王国の政治・外交・文化の中心として栄えた拠点を何といいますか？